



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com

例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル

例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム ゲスト講演 (出前講座) / 国際奉仕委員会
「会社の心の健康づくりお手伝いします」
三次市健康推進課健康推進係
保健師 牧原史子様
係長 松家夕歌様

■次回例会日時 2025年2月10日(月) 12:30~

■次回プログラム 公共イメージ委員会 / 委員長卓話
「公共イメージ向上について」

会長 / 光永義則
幹事 / 中西佳代子

●2024~25年度 国際ロータリーのテーマ



●2024~2025年度 三次中央RCスローガン

和敬で繋ぐ奉仕活動

■第1448回例会記録

- 日時.....2025年1月27日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員
- 「DEI」唱和.....全員
- ゲスト紹介
三次市長 福岡誠志様



■開会挨拶.....光永会長

孔子の教え「宥座之器」

本日はゲストに福岡市長をお迎えし、新春講演をいただきます。市長、よろしくお願いいたします。

さて、「宥座之器」と言う器をご存じですか。空の時には傾いているこの器は、少し水を入れると真直ぐになり、八分目を超えて入れ過ぎるとひっくり返ります。孔子が理想として中庸(ちゅうよう)(偏ることなく、いつまでも変わらない道徳というのは最高であること)がよいことを教え、常に座右に置いて学ぶべきものであるとして「宥座之器」と呼ばれています。過不足がなく調和がとれているということを教えています。



我が国でも同様な教えはありますが、同じような器は有りませんでした。その教えは、「過ぎたるは、及ばざるが如し」ではないでしょうか。しかし、儒教で孔子の教えでは、その調和を教えるための器があったと言われています。言って教えるだけでなく実際に見せて教えていたのでしょうか。



以前、会長挨拶でも触れました、茶の湯の本意で取り上げましたが、3代 玄白宗旦(利休宗易の孫)の教えで、「茶の湯は心に伝え、目に伝え、耳に伝えて一筆もなし」と教えています。どんな時代であろうとも教えることは同様なのでしょう。

本日の花は、市長をお迎えし、テーマは「歓迎」です。小根森会員に花を入れていただきました。以上 会長挨拶とします。

■幹事報告.....中西幹事

- IMの案内を回覧しています。全員登録です。
- 2月3日理事役員会を開きます。場所はサングリーン第3ビル、会費は1,500円です。出欠はラインで取らせていただきます。
- 福岡市長をお迎えして小根森会員にお花をいけていただきました。題は「歓迎」です。

■小根森会員

1月17日、夫の母が永眠いたしました。クラブから弔電をいただきありがとうございました。阿部会員、宮武会員には暖かい対応をしていただき感謝しております。

■出席報告.....石田委員長

●第1446回12月23日

会員数	35名	Make-up	1名
欠席	6名	出席合計	30名
欠席者のうち規定免除	3名	出席率	93.75%

●第1448回 本日の出席は35名中29名です。

■SAA.....阿部副SAA

- 市長より新年のお祝いをいただきました。(大口)
 - 会員ニコニコBOXへご出宝
 - 水野君 妻にお花をありがとうございました。(大口)
 - 光永君 福岡市長をお迎えしてよろしくお願いたします。(大口)
 - 山縣君 本日より会場利用でしばらくお世話になります。不手際の無いよう気をつけますので、よろしくお願いたします。
 - 池田君 三次市長をお迎えして。今回から広島三次ワイナリー様にお世話になります。皆様にもご迷惑お掛けします。
 - 酒井君 先週、例会場移動設営に、山縣さん、阿部さん、豊島さん、ご苦労様でした。
- 「福岡市長をお迎えして。ワイナリーさんお世話になります」

沖君、信国君、村竹君、安藤君、井上君、平田君、大井君、杉谷君、山崎君、中西君、和田君、石田君、松本君、重信君、宮武君、小根森君、上田君、沈君、栗本君、水野君、野村君

ニコニコBOX本日出宝額 37,000円

▶小根森会員作「歓迎」



本日の昼食
広島三次ワイナリーさん、
これからもよろしくお願
します

市長の胸に見慣れたような、
見慣れないようなバッチ。
SDGsの木製バージョン。
12種類の木を使っているそう
です。



ピオネットを見てたら、聞き覚えのある声に思わず「はっ！」
圓道会員が、日彰館高校で、これから大学・社会に出て行く3年
生を対象にした租税教室の講師をしているニュースでした。
アルバイト、給料などで得たお金には、税金がかかり、その税金で、
社会の仕組みが回っている事などの説明です。なかなかいい感じの
講師振りでした。

投稿：和田ひとみ

新春恒例の市長によります市政報告の講演です。福岡市長よろしくお願ひいたします。

プログラム委員長 重信 優



新年あけましておめでとうございます。
三次中央ロータリークラブの皆様には、平素より活動を通じて三次市に貢献していただき感謝しております。限られた時間ではございますが市政報告させていただきます。



これは市会に初めて出させてもらった時のポスターです。平成13年です。5期17年間市会議員として務めさせていただきました。その後、県会議員に立候補させていただきましたが、その時はダメで、これではいけない、もっと学ぼうと、修道大学の大学院に入りました。平成から令和へ元号が変わる時、市長に立候補させていただき、以来6年間市長として純粋に新しい三次を作っていくと行動しています。

さて、今年巳年、巳年は転換の年とも言われていますが、この三次市においても行政の力だけではなく、社会全体で課題を解決していかなくてはならないと感じています。

東京一極集中から、地方分散へ、この三次から発信していかなくてはなりません。今朝の中国新聞県北版に、三次で作られるお米についての記事がありました。住んでいる私たちにとっては当たり前になっているこの味が、どれだけ素晴らしいものかということが書かれていました。例えばこのようなことについてもできるだけ可視化し発信していかねばなりません。

宗山墨君はドラフトで5球団から一位指名を受けましたが、結局楽天イーグルスに入団することに決まりました。そのドラフトの指名の日に200名ぐらいの人たちと一緒にテレビの前に集まり、その成り行きを見守っていました。楽天に決まった時には一瞬重い空気に包まれました。でも、この三次の地からプロ野球選手が生まれるのは素晴らしいことです。みんな応援していきましょう。

4月6日にNHKのど自慢が、きりりで開催されます。予選の出場者を募集しています。多くの市民の方が出て、三次の色んなものを発信していただきたいものです。

それでは、市政の現状について、お話しさせていただきます。

*まず、三次市の教育についてです。元文部科学副大臣の鈴木寛氏をはじめとする教育スーパーアドバイザーの指導助言をいただくことになりました。目指す3つの姿は

- ①新たな価値を創造する人材が育つ
- ②中山間地域の教育モデルとして認知される
- ③教育先進地として、多様なひと、資源のハブ(要衝)となる。

*さらなる女性活躍の推進については、起業仲間が集う支援拠点アシスタlab, 女性起業家認定制度「みよしアントレーヌ」の認定制度などにより、他の市からも評価の声をいただいています。

また、女子野球を通じて地域の課題解決を目指す取り組みもあります。この4月からチーム「三次ブラックパールズ」が設立されます。目標はチームの設立ではなく雇用する人材を企業に、選手の皆さんの

す。企業さんには選手の皆さんの受け皿になっていた
だきたいのです。ご支援をよろしくお願いいたします。

*活力ある産業を目指した取り組みに関しては、
IT企業などが三次に進出しています。

*農業を守り、稼ぐ農業を目指した、持続可能
な形としての取り組み。例えば、ブドウ、それに付加
価値をつけ、ワインという循環するシステム。また、
ワインビーフ、クラフトビール、ネギ油など事業者が
創意工夫した取り組みを続けています。薬用作物
産地化にも取り組んでいます。産業ベースになるに
はもう少し時間がかかるかと思えます。

*学校給食についてです。三次市三次学校給食
センターが1年前にオープンしました。地産地消で
食育に取り組み、そして農業の収益となる取り組み
です。

*官民共創の取り組みとして、東京渋谷に
SHIBUYA QWS (渋谷きゅーず)の一角を会員とし
てレンタルし、地域資源を活用した新たな付加価値
の創出、地域課題の解決を目指しています。また、
民間企業と各種連携協定を締結し、社会問題の
解決を目指しています。

*「くるるんバス」についてです。皆さんも市中で目
にされると思えます。誰も乗っていない。もっと活用
方法があるのではないか。AIオンデマンドバス。乗
りたい時に呼べる。待ち時間の短縮。自宅の近くで
の乗り降り。来年度のどこかの時点で実証実験を
考えています。

*ツナガリ人口の増加を目指しています。住みたい、
住み続けたい。つながりが定住になるよう、例えば
スポーツ施設の魅力の利活用、大規模なスポーツ
大会や、合宿を誘致。人と人を結ぶ「みよしのよし

みファンクラブ」などとの連携や、ふるさと納税をはじ
めとする市街とのツナガリの創出などです。

*スポーツ施設の魅力化と利活用。これには中国
地方の「へそ」である三次の拠点を最大限に生かし
ます。みよし運動公園の野球場の名称が『電光石
火きんさいスタジアム三次』と変更になり、その収益
を施設の維持管理や、さらなるサービス向上のため
に有効活用します。

*計画的、効率的な財政運営の実施として、三
次長期財政運営計画の策定(令和3年11月)。過
疎計画に基づく主要事業の実施についての方針策
定。これには三次中央病院、三次小学校、東光
保育所などあります。その中で、市立三次中央病院
の改築整備計画は安心して暮らせる環境を目指し、
患者、働く人(医療従事者)にとって優しい病院建
設を進めています。リニューアルでは今の機材、感
染症などに対応できず、中途半端なことより建て替
えた方が、拠点病院としての役割を果たすと考えて
います。また、消防庁舎移転工事は11月から工事、
来年7月完成予定です。



今後とも、しっかりとビジョンを立て、しっかりと
事業を進めていきたいと思っています。ありがとう
ございました。



■謝辞
■点鐘

光永会長
光永会長